

市民サイド

松本寛道

●国の補助金とICT(※3)

問 国の補助金で行われる事業であっても無駄なものは無駄だと言ふべきだ。ICT事業は市の一般財源でも行っていたか。

答 大変厳しい財政状況の中では、優先順位としてはそれほど高くない。市の財源で行うということであれば、実施は難しかった。

●負担金の見直し

問 国の所管する特別民法法人に対して市から毎年多額の負担金が支払われている。漫然と支出を続けるのは問題であり、見直しすべきではないか。

答 今まで予算査定の中で本格的な見直しというところが欠けていたと反省している。今後は必要な行政目的を達成するために必要な支出かどうか、負担のあり方を精査していきたい。

●自転車の安全利用

問 自転車安全に走行するために何をどうするのか。



交通指導員による自転車安全教室

答 自転車道をつくるということとは現状では不可能であり、ソフト面での対応をお願いする。

宮田清子

●最低価格を決めない入札に

問 市では、最低制限価格を公表し、その最低価格より1円でも安くすると失格になるため、すべての業者が最低価格で入札し、くじ引きで落札業者が決定されている。これでは入札の意味がないのでは。

答 同額入札を防ぐために、予定価格や最低制限価格の事前公表を事後公表に段階的に移行していくことを検討していきたい。



現在使用している入札箱

問 事後公表では最低価格を知りたい業者が職員にすり寄り、贈賄事件につながる可能性が生まれる。佐倉市では最低価格を決めずに、一番安い金額を示した業者が落札する制度。調査や検査をきちんと行っているのを見ても入札価格が低いと工事結果が悪いというデータはない。1円でも安くという企業努力を排除しないために、また落札率を1%でも下げて市民の利益になるよう、最低制限価格を設けない制度にするべきでは。

答 5億円以上の工事はそのような制度で行っている。今後実施金額を下げる形で検討したい。

未来会議柏

海老原久恵

●放射能汚染対策について

問 市民の内部被曝への不安は高い。健康相談や検診の方針は。

答 子供や妊産婦への健康相談体制等を検討している。

問 食の安全確保から消費者への情報提供や農地除染、学校給食の提供食検査を行うべきでは。

答 食品の放射線検査機器の消費者への利用を計画。経済団体に食品の安全性表示を促し、農地除染も専門家の協力を得て対策を講じる。学校給食の提供食検査を実施する方向である。

●乳・子宮がん検診受診率向上

問 子育て中の女性が検診を受けやすいよう、セット検診や女性スタッフを確保し、保育つきで学校等身近な場所で実施できないか。



休日のバス停留所

答 女性スタッフの従事や子育て世代の女性を考慮し、午前中や土曜日の実施等を検討する。

●柏駅東口休日バス乗り入れ

問 早期乗り入れ実施を。

答 平成20年度に実証実験で効果が確認できた。今後バス事業者と協議していく。

長瀬慈村

●行政組織の縦割り構造と人事

問 弊害への対策と規範は。

答 横断的組織の設置や問題意識を持った対応で改善を図る。人事は試験と経験により、活性化と育成の観点で行っている。

●医療、福祉、子育て支援など

問 心のケア、児童虐待、情報提供方法の現状と対策はどうか。

答 心のケア対策は不十分で関係団体とも協議する。児童虐待予防は関係部署での連携を強化する。情報提供は担当課で対応も、再来年度設置予定の地域医療拠点にその機能を備えたい。

●教育、図書館、スポーツ振興

問 その現状はどうか。

答 専門家協力のもと、思春期健康教育を行っている。図書館の役割は貸し出し型から生涯学習支援型に移行したい。生涯スポーツ社会を障害予防や健康づくりの視点も加味して進めたい。



駐輪場の防犯カメラ

●駐輪場の治安、災害対策など

問 その対策はどうか。

答 駐輪場に防犯カメラ設置を進め、マナー向上啓発活動を行っている。災害対策は、部局の役割、避難所、備蓄体制を見直し、防災無線の活用を協議中。

柏愛倶楽部

永野正敏

●放射能対策

問 対話集会での新たな課題は。また、今後の開催の周知徹底やインターネット中継で多くの人が参加できる環境整備を。

答 これまでの情報発信方法では不安解消につながらないと再認識した。その反省を踏まえ放射線対策室に広報担当者として1名増員し、わかりやすい情報発信に努めていく。



柏第一小学校における対話集会

●除染と並行して健康影響について

問 除染と並行して健康影響について力を入れるべきでは。

答 保健所が有する専門性を生かし、健康に関する安全の意識を持つてもらえるよう取り組む。

●地域コミュニティ

問 ホームページやメールを使えない方もおり市政情報等の取得に格差が生じている。解消手段としてコミュニティFMを導入してはどうか。災害時の情報発信として被災地でも役立つ、地域コミュニティ醸成にも有効なツールと考えるが。

答 効果は認識している。近隣市と相談しながら研究していく。

山下洋輔

●手賀東小の教員増員

問 複式学級にならないように教員の増員を。

答 市採用の講師を配置する。



手賀東小学校

●風早北部小の教育内容充実

問 教育内容充実のための取り組みを具体的に示してほしい。

答 小中連携教育、チームティ―チングの授業、補充学習、家庭と連携した自主学習等がある。

●柏の農業ブランディング

問 だれもが学習でき、就農できる市独自の研修制度と資格制度を確立し、柏の農業振興を。

答 農家の担い手育成は、優先順位の高い課題と考えている。

●介護予防とその普及啓発

問 その取り組みと方針は。

答 チェックリストで状況を把握。高齢者の生きがい、活動の場づくりも進めていきたい。

無所属

内田博紀

●コミュニティ交通について

問 新柏駅から市役所や中央公民館、アミューゼ等へ向かう路線要望があるため、検討を求むる。

答 一定の需要が想定される。新柏駅からのバス路線の整備についてはバス事業者に働きかけていく。



コミュニティバス

●化学物質問題と市民の健康について

問 農薬の飛散を防止するため、砂防ネット対策の補助事業を導入してほしいがどうか。

答 都市と農業の共存、地域住民の生活環境への配慮を考えると経費負担や手間といった課題があるが、砂防ネット導入を検討していく必要はあると考える。

●一般会計補正予算について(議案第9号)

問 除染関連経費は「放射能対策特措法」の枠組みで措置されるべきと考えるがどうか。

答 国が責任をもって措置すべきものと考えている。適及適用の問題についても、具体的に適用されるよう国に強く要望、要請していきたいと考える。

※3 ICT = 情報 (information) や通信 (communication) に関する技術 (technology) の総称